

10月から

「プラスチック容器包装」の 収集回数が増えました

分別収集で不燃ごみが激減

市内全域で「プラスチック容器包装」の分別収集を始めて1年が過ぎました。

市民のみなさんのご協力により、埋め立てる「不燃ごみ」の量は、それまでと比べて重さで2分の1に、容積では3分の1に減少しています。

分別収集は、プラスチックの容器や包装類をリサイクルして有効に活用するうえで、最終処分場（埋め立て地）の寿命を延ばすことにも貢献しているのです。

不燃ごみの収集は月1回に

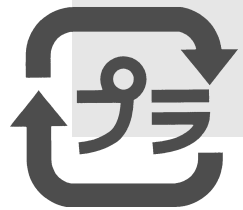
家庭生活から出る「プラスチック容器包装」と「不燃ごみ」の実態を見ると、圧倒的に「プラスチック容器包装」の方が多いことが分かりました。そのうえ、「プラスチック容器包装」はかさばるので家庭やごみステーションであふれがちになっています。さらに、おおむね月2回となっていた「プラスチック容器包装」の収集回数を増やしてほしい、という市民のみなさんからの要望が多く寄せられていました。そのため、10月からは「不燃ごみ」の収集回数を月1回とし、その他の週の同じ曜日はすべて「プラスチック容器包装」の収集を行っています。この方法だと、一部の地域であった「不燃ごみ」の収集が月をまたいで2週続く、ということもなくなりそうです。

「不燃ごみ」とは？

「不燃ごみ」とは、現在の市の施設ではリサイクルや焼却などの処理ができません、埋め立てるしか方法がないごみのことで、次のようなものが対象です。



乾電池は収集後選別してリサイクルします。乾電池と蛍光灯は、電気店で回収しているところがあります。また、リユースプラザ津山「くるくる」では乾電池の回収を行っています。



指定袋は家庭用

黄緑色の「可燃ごみ」、ピンク色の「プラスチック容器包装」、透明の「不燃ごみ」、これら3種類の指定袋は、すべて家庭用のものです。市がステーションに出されたごみ袋を収集できるのは、家庭から出されるものだけです。

事業の結果出るごみは、焼却場へ直接持ち込むか、廃棄物収集運搬業の許可業者へ委託するなど事業者の責任で処理してください。

家庭用パソコンの回収制度が始まる

10月から、パソコンのメーカーや輸入業者が家庭用パソコンを有料で回収し、リサイクルする仕組みが始まりました。

市では、これまで家庭用パソコンを粗大ごみとして受け入れ、破碎処理してきました。しかし、この方法では有効なりサイクルができず、不燃ごみも発生します。そこで、粗大ごみとしての受け入れは平成16年3月までとし、それ以降は原則として受け入れできなくなりそうです。ご注意ください。

回収の手順

- パソコンメーカーなどの受付窓口で電話やインターネットで回収の申し込みをする
- 回収再資源化料金の振替用紙が送付される
- 回収再資源化料金を支払う
- 専用の輸送伝票が送付される
- 回収品をこん包し、指定の場所に発送する

料金は、ノート型パソコン3,000円、デスクトップ型パソコン本体3,000円、ブラウン管モニター4,000円などとなっています。

ごみの分け方、出し方についてのお問い合わせは、**市環境事業課 22 8255へ**どうぞ。